

# 第2次静岡市茶どころ日本一計画

令和3年度実施計画

実施状況報告書

令和4年9月

静岡市

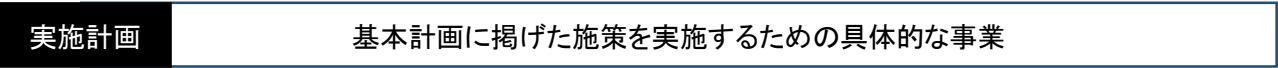
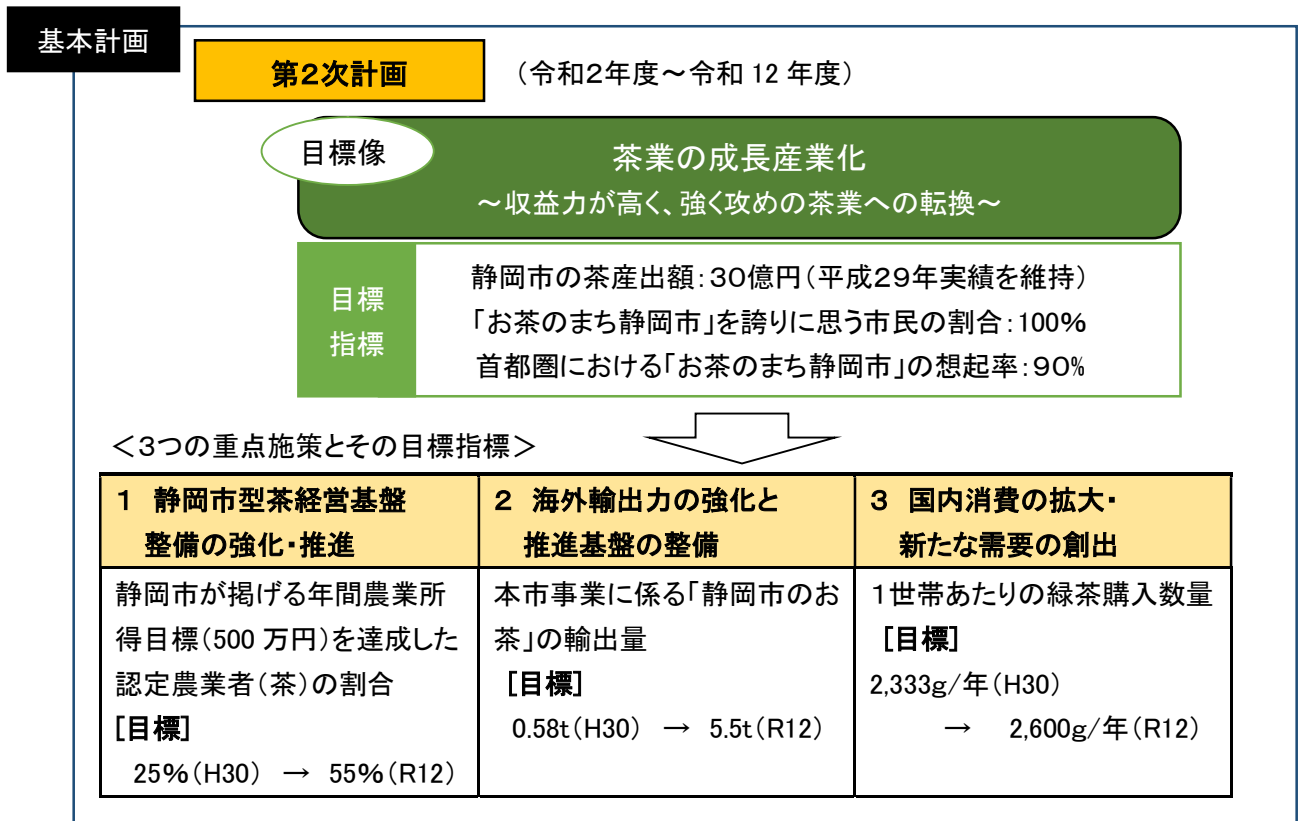
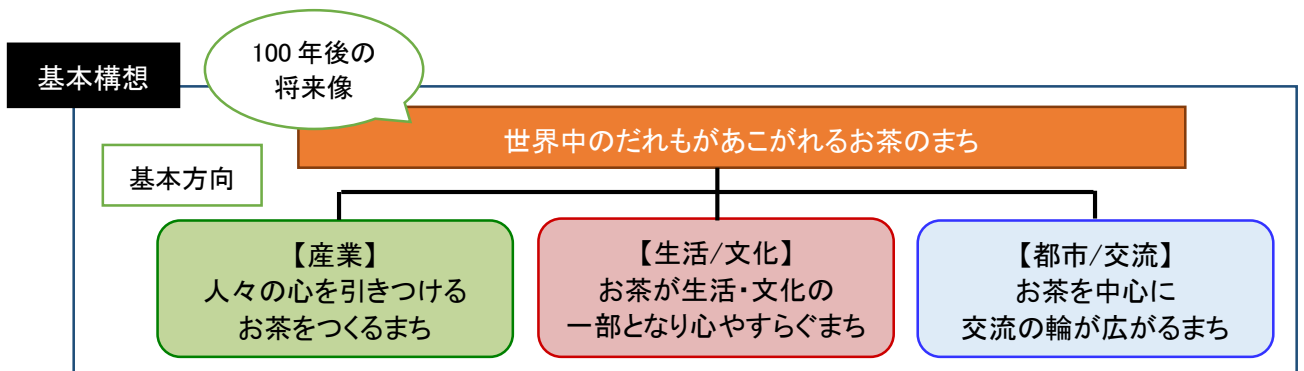
# 目 次

1	はじめに	1
2	第2次静岡市茶どころ日本一計画の施策体系	2
3	第2次静岡市茶どころ日本一計画の目標指標	3
4	第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画対象施策一覧	4
5	令和3年度実施計画	
(1)	実施状況総括表	5
(2)	実施計画実施状況	
	【産業】	7～11
	【生活／文化】	12～16
	【都市／交流】	17～21

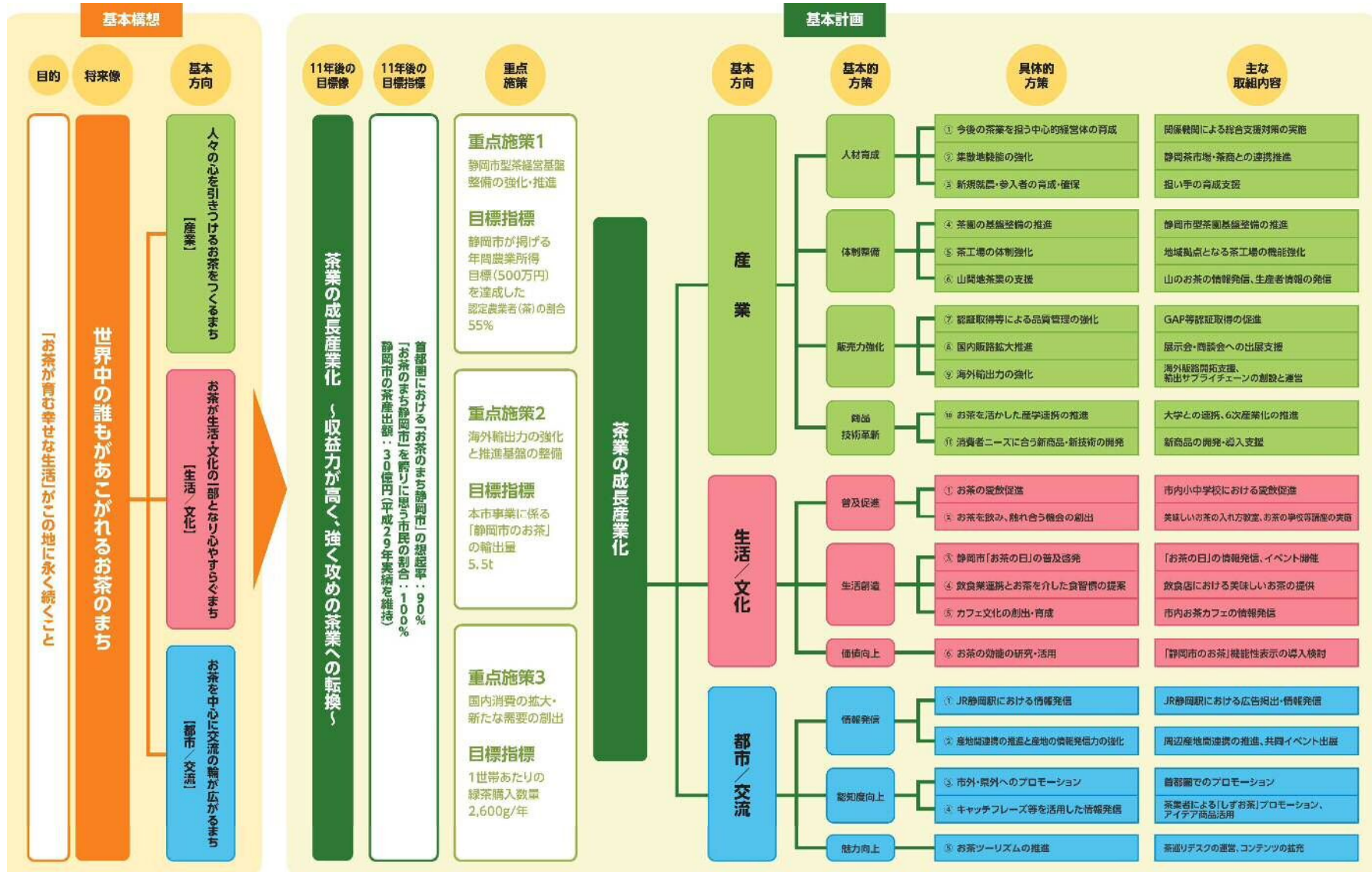
# 1 はじめに

本市では、平成 21 年 4 月 1 日に「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」が施行され、この条例に基づき「静岡市茶どころ日本一計画」を策定し、茶業振興に向けた取組を行っています。

この計画は、茶業の振興とともに、市民の豊かで健康的な生活の向上を目的とし、“100 年後もお茶のまちであり続けたい”という超長期的な構想を視線の先に据えた基本構想、基本構想を実現するための基本的な考え方（施策の方向と具体的な施策）を示した基本計画、基本計画に掲げた施策を実現するための具体的な事業からなる実施計画により構成されています。



## 2 第2次静岡市茶どころ日本一計画 施策体系



### 3 第2次静岡市茶どころ日本一計画の目標指標

第2次計画及び同計画で設定した重点施策に係る計画期間終了時点（令和13年3月31日時点）での目標指標は以下のとおりです。

#### <第2次計画の目標指標>

目標指標	基準値 (年度)	目標値 (R12)	実績値										
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
静岡市の茶産出額 ※1	30億円 (H29)	30億円	20.2 億円 (R1)	16.3 億円 (R2)									
「お茶のまち静岡市」を誇りに思う市民の割合 ※2	92.0% (H30)	100%	94.0 %	90.0 %									
首都圏における「お茶のまち静岡市」の想起率 ※3	87.3% (H30)	90%	91.3 %	88.6 %									

#### <重点施策の目標指標>

目標指標	基準値 (年度)	目標値 (R12)	実績値										
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
<b>【重点施策1】</b> 静岡市が掲げる年間農業所得目標（500万円）を達成した認定農業者（茶）の割合 ※4	25% (H30)	55%	17.0 %	19.6 %									
<b>【重点施策2】</b> 本市事業に係る「静岡市のお茶」の輸出量	0.58t (H30)	5.5t	0.559 t	1.042 t									
<b>【重点施策3】</b> 1世帯あたり緑茶購入数量（リーフ茶） ※5	2,333 g/年 (H30)	2,600 g/年	2,323 g/年	1,759 g/年									

※1 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

※2 静岡市 市政モニターアンケート調査

※3 東京都民への静岡市イメージ調査（広報課実施）

※4 認定農業者（茶）アンケート（R2.11）、認定農業者アンケート（R3.5）

※5 総務省家計調査 家計収支編 二人以上の世帯

## 4 第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画対象施策一覧(令和3年度)

掲載係	11年度後の目標値	基本方向	基本的方策	具体的方策	主たる事業		関連事業				
					対象となる事業名	市関係部署等	対象となる事業名	市関係部署等			
茶業の成長産業化 ～収益力が高く、強く攻めの茶業への転換～	世界中のだれもがあげられるお茶のまち	A	人々の心を引きつけるお茶をつくるまち【産業】	1 人材育成	①今後の茶業を担う中心的経営体の育成	中心的経営体重点支援事業	茶業振興協議会	農業経営講座	農業政策課		
					②集散地機能の強化	茶販路拡張事業(※再掲)	農業政策課	農業経営収入保険加入費補助金	農業政策課		
					③新規就農・参入者の育成・確保			担い手育成支援事業	農業政策課		
				2 体制整備	④茶園の基盤整備の推進	茶産地総合対策事業(茶園改良整備事業)	農業政策課	荒廃農地再生・集積促進事業	農地利用課		
						茶産地総合対策事業(茶園共同管理推進事業)	農業政策課	農地中間管理事業	農地利用課		
						茶産地総合対策事業(防霜施設修繕事業)	農業政策課	県営土地改良事業負担金	農地整備課		
						茶産地総合対策事業(加工施設機械整備事業)	農業政策課	農地中間管理機構関連整備事業	農地整備課		
						茶園集積推進事業	農業政策課				
						⑤茶工場の再編と強化	地域拠点茶工場整備事業	農業政策課			
						⑥山間地茶業の支援	茶産地総合対策事業(補完作物転換事業)	農業政策課	担い手育成支援事業(※再掲)	農業政策課	
				茶共済加入事業	農業政策課		援農ボランティア事業	農業政策課			
				「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業	農業政策課		ふるさと農カチャレンジ事業	農業政策課			
				「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業	農業政策課		中山間地域直接支払制度	中山間地振興課			
							オクズ元気ビジネス支援事業	中山間地振興課			
				3 販売力強化	⑦認証取得等による品質管理の強化	GAP等認証取得・継続支援事業	農業政策課	エコファーマー認定の推進	農業政策課		
								環境保全型農業支援事業	農業政策課		
						⑧国内販路拡大推進	お茶の産地づくり推進事業	農業政策課			
							首都圏プロモーション事業	農業政策課			
							首都圏アスタマーケティング等実施事業	産業政策課			
							茶販路拡張事業	農業政策課			
						「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業(※再掲)	農業政策課				
				⑨海外輸出力の強化	特産茶戦略的輸出支援事業	農業政策課					
					GAP等認証取得・継続支援事業(※再掲)	農業政策課					
				4 商品・技術革新	⑩お茶を活かした産学連携の推進	ChaO1フォーラム参画事業	農業政策課				
						⑪消費者ニーズに合う新商品・新技術の開発	ChaO1フォーラム参画事業(※再掲)	農業政策課	ふるさと農カチャレンジ事業(※再掲)	農業政策課	
				B	お茶が生活・文化の一部となり心やすらぐまち【生活/文化】	1 普及促進	①お茶の愛飲促進	お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課	社会科副読本改訂事業	学校教育課
								「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出	農業政策課	学校給食「お茶」提供事業	学校給食課
								「静岡市のお茶」愛飲促進事業(給茶機設置事業)	農業政策課	軽自動車税種別割納期限周知用啓発品の作成(※再掲)	税制課
							②お茶を飲み、触れ合う機会の創出	お茶で学ぶ静岡型人材の育成	教育センター		
								婚姻家庭に急須・お茶等のプレゼント	茶業振興協議会		
茶手採保存事業	農業政策課	茶区魅力づくり事業	茶区地域総務課								
駿府本山お茶まつり事業	農業政策課	駿河区魅力づくり事業	駿河区地域総務課								
お茶の美味しい入れ方教室(※再掲)	農業政策課	食育推進事業	健康づくり推進課								
T-1グランプリ実行委員会負担金	農業政策課	学校給食「お茶」提供事業(※再掲)	学校給食課								
③静岡市「お茶の日」の普及	「お茶のまち静岡市」冊子作成	農業政策課	学校給食で「茶」を使った料理の提供				学校給食課				
	静岡市お茶の学校	農業政策課	軽自動車税種別割納期限周知用啓発品の作成				税制課				
	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出(※再掲)	農業政策課									
	まちお茶おもてなし推進事業(※再掲)	農業政策課									
	婚姻家庭に急須・お茶等のプレゼント(※再掲)	茶業振興協議会									
	お茶で学ぶ静岡型人材の育成(※再掲)	教育センター									
2 生活創造	④飲食業連携とお茶を介した食習慣の提案	静岡市市民文化祭「市民大茶会」「茶道大会」	文化振興課								
		伝統文化寺子屋	文化振興課								
		生涯学習施設お茶関連講座	生涯学習推進課								
		お茶の日記念事業	農業政策課								
		お茶に親しむ日事業	茶業振興協議会								
3 価値向上	⑤カフェ文化の創出・育成	静岡お茶カフェ情報発信事業(※再掲)	農業政策課								
		静岡お茶カフェ情報発信事業	農業政策課								
		⑥お茶の効能の研究・活用	ChaO1フォーラム参画事業(※再掲)	農業政策課							
C	お茶を中心に交流の輪が広がるまち【都市/交流】	1 情報発信	①JR静岡駅における情報発信	JR静岡駅情報発信事業	農業政策課						
				②産地間連携の推進と産地の情報発信力の強化	「お茶のまち静岡市」HP活用事業	農業政策課	農水産物消費拡大促進事業	農業政策課			
					組立式茶室活用事業	農業政策課	ふるさと農カチャレンジ事業(※再掲)	農業政策課			
					聖一園師顕彰事業	農業政策課	オクズプロモーション事業	中山間地振興課			
					「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業	農業政策課					
					「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業(※再掲)	農業政策課					
					喫茶一茶運営事業	茶商工業協同組合・農業政策課					
					③市外・県外へのプロモーション	首都圏プロモーション事業(※再掲)	農業政策課	シティプロモーション推進事業	広報課		
				2 認知度向上	「お茶のまち静岡市」HP活用事業(※再掲)	農業政策課	オクズプロモーション事業(※再掲)	中山間地振興課			
					組立式茶室活用事業(※再掲)	農業政策課	姉妹都市等交流事業	国際交流課			
					聖一園師顕彰事業(※再掲)	農業政策課	客船寄港歓迎事業	海洋文化都市政策課			
					「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業(※再掲)	農業政策課	KEIRINグランプリ2021PR事業	公営競技事務所			
					まちお茶おもてなし推進事業	農業政策課					
					まちの緑茶化推進事業	農業政策課					
				3 魅力向上	④キャッチフレーズ等を活用した情報発信	茶業界・タクシー業界連携事業	茶業振興協議会				
喫茶一茶運営事業(※再掲)	茶商工業協同組合・農業政策課										
新茶シーズン応援事業	茶業振興協議会										
まちの緑茶化推進事業(※再掲)	農業政策課										
⑤お茶ツーリズムの推進	お茶ツーリズム推進事業	農業政策課	静岡県中部地域連携DMO推進事業	観光・MICE推進課							
	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業(※再掲)	農業政策課									

※茶業振興協議会(静岡市農業協同組合、清水農業協同組合、静岡茶商工業協同組合、静岡市で構成)

## 5 令和3年度実施計画

本実施計画に位置付けられた事業は延べ101事業（再掲事業含む）です。

これらを「主たる事業」（事業対象が専らお茶に関わるとされる事業）と「関連事業」（事業対象の一部がお茶に関わるもの、又はお茶に関する活動等に活用できるもの）に大別しています。

（主たる事業：69事業、関連事業：32事業 ※再掲事業含む）。

### （1）実施事業総括表（※再掲事業を含む）

基本方向	基本的方策	対象事業数		令和3年度達成状況			
				a	b	c	d
産業	1 人材育成	主たる事業	3	3			
		関連事業	2	2			
		計	5				
	2 体制整備	主たる事業	11	9	1		1
		関連事業	9	8	1		
		計	20				
	3 販売力強化	主たる事業	8	6	2		
		関連事業	2	2			
		計	10				
	4 商品・技術革新	主たる事業	2				2
		関連事業	1	1			
		計	3				
	計	主たる事業	24	18	3		3
		関連事業	14	13	1		
		計	38	31	4		3
生活／ 文化	1 普及促進	主たる事業	18	11	2	3	2
		関連事業	9	7		1	1
		計	27				
	2 生活創造	主たる事業	6	6			
		関連事業	0				
		計	6				
	3 価値向上	主たる事業	1				1
		関連事業	0				
		計	1				
	計	主たる事業	25	17	2	3	3
		関連事業	9	7		1	1
		計	34	24	2	4	4

基本方向	基本の方策	対象事業数		令和3年度達成状況			
				a	b	c	d
都市／ 交流	1 情報発信	主たる事業	1	1			
		関連事業	0				
		計	1	1			
	2 認知度向上	主たる事業	17	11	1	1	4
		関連事業	9	5	4		
		計	26	16	5	1	4
	3 魅力向上	主たる事業	2			2	
		関連事業					
		計	2			2	
	【都市／交流】 計	主たる事業	20	12	1	3	4
		関連事業	9	5	4		
		計	29	17	5	3	4
総 計	主たる事業	69	47	6	6	10	
	関連事業	32	25	5	1	1	
	計	101	72	11	7	11	

※達成状況の評価凡例

各事業の成果指標に達する達成状況

a：計画の80%以上達成

b：計画の60%以上80%未満の達成

c：計画の60%未満の達成

d：未実施



第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額(千円)	成果指標	実施内容	決算額(千円)	成果指標達成状況	達成状況		評価
1	A	1	①	1:主たる事業	中心的経営体重点支援事業		静岡市茶業振興協議会	今後の茶業を担う中心的経営体(共同茶工場・自園自製農家)に対し重点的な支援を実施するため、関係機関による総合支援会議を開催する。	—	茶業経営の基盤づくり	中心的経営体育成支援部会を開催し、今後の茶業を担う中心的経営体の支援方法の検討を行ったほか、共同茶工場に対しては中小企業診断士による経営診断・分析を行った。	—	中小企業診断士による経営診断・分析の実施(共同茶工場2工場)	a	中小企業診断士による経営診断・分析を行うことで、今後の茶業を担う共同茶工場の茶業経営の基盤づくりに寄与することができた。	
2	A	1	①	2:関連事業	農業経営講座		農業政策課	農業経営に関する講座等を通じ、農業者及び後継者の育成を図る。	100	年2回開催	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、人を集めるの講座ではなく、地域の先進的農業者の取り組みについて農業委員会だよりを通じて発信する方法とした。	24	・市内農業者2経営体(川村農園川村研史氏、(有)グリーンエイト代表取締役北條広樹氏)を取材 ・静岡市農業員だより12月号(16,150部発行)を通じて市内農業者及び関係機関へ配布	a	市内農業者の育成のため、農業経営講座として先進的農業者2経営体の取り組みを広く発信した。	
3	A	1	①	2:関連事業	農業経営収入保険加入費補助金		農業政策課	静岡市内の認定農業者及び認定志向農業者が、全国農業共済組合連合会が取り扱う「農業経営収入保険制度」に加入する際に必要となる保険料のうち、掛け捨て分に対して補助を行う。	6,820	R3新規加入 50経営体	市、市内両JA及び静岡県農業共済組合の4者による連携協定に基づき、周知及び加入促進を実施。 収入保険加入者292経営体のうち補助金交付辞退者を除く283経営体を対象に補助金を交付した。	5,049	・R3末までに新たに51経営体が新規加入	a	認定農業者及び他の共済に加入している農業者を対象に加入促進を行い、新規加入目標を達成した。	
4	A	1	②	1:主たる事業	茶販路拡張事業	○	農業政策課	静岡市のお茶の消費拡大のため、消費者に対し、静岡市のお茶に関する情報を提供・宣伝・普及させるイベント等の事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して、補助金を交付する。	3,000	事業の実施	対象事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付	3,000	補助金交付件数 1件	a	新型コロナウイルス感染症等の影響もありながら、当初の計画通りに事業を実施した「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付し、静岡市のお茶の消費拡大に繋がった。	
5	A	1	③	1:主たる事業	担い手育成支援事業		農業政策課	担い手(認定農業者、新規就農者等)が経営基盤の強化のために農作業の省力化等の事業の実施に対して補助金を交付する。	23,500	認定農業者数 600経営体	認定農業者42名、新規就農者2名に対し、補助金を交付した。	20,915 (R4.3.31)	認定農業者数610経営体	a	事業が円滑にできるよう、引き続き認定農業者の営農活動を支援し、本市の認定農業者の増加に努める。	
6	A	2	④	1:主たる事業	茶産地総合対策事業(茶園改良整備事業)		農業政策課	茶の生産性の向上と良質茶の生産の推進による茶業経営の安定化を図るため、茶園の平坦化、園内作業道整備、防霜施設の整備等の基盤整備に対して助成する。	24,800の一部	茶業経営の基盤づくり	優良茶園を確保するため、茶園の小規模基盤整備に対して補助金を交付した。	3,306	交付件数:6件 交付金額:3,306,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計
7	A	2	④	1:主たる事業	茶産地総合対策事業(茶園共同管理推進事業)		農業政策課	茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して助成する。	24,800の一部	茶業経営の基盤づくり	茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して補助金を交付した。	4,585	交付団体数:4件 交付金額:4,585,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、補完作物転換事業合計

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
8	A	2	④	1:主たる事業	茶産地総合対策事業 (防霜施設修繕事業)		農業政策課	茶の生産の安定化を図るため、防霜施設の修繕に対して助成する。	24,800の一部	茶業経営の基盤づくり	茶の生産の安定化を図るため、緊急を要する防霜施設の修繕に対して補助金を交付した。	389	交付件数:23件 交付金額:389,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計
9	A	2	④	1:主たる事業	茶産地総合対策事業 (加工施設機械整備事業)		農業政策課	茶の生産性の向上と良質茶の推進による茶業経営の安定化を図るため、荒茶及び仕上げ茶加工施設で使用する機械の導入に対して助成する。	24,800の一部	茶業経営の基盤づくり	茶の生産性の向上と良質茶の推進による茶業経営の安定化を図るため、荒茶及び仕上げ茶加工施設で使用する機械の導入に対して補助金を交付した。	14,857	交付件数:18件 交付金額:14,857,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計
10	A	2	④	1:主たる事業	茶園集積推進事業		農業政策課	農地中間管理事業を活用して茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図る。	1,300	集積する面積215a	農地中間管理事業を活用して、茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図った。	990	面積396a	a	396aの補助交付を行い、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図った。	
11	A	2	④	2:関連事業	荒廃農地再生・集積促進事業		農地利用課	荒廃農地を借り受けて再生作業に取り組む農業者等に対して、補助対象経費の一部を助成する。	6,600	荒廃農地の解消 1.4ha	荒廃農地の再生及び集積を行う手9経営体に対して補助金を交付した。	6,591	荒廃農地解消・集積 面積 1.5ha	a	関係機関を通じて事業内容を広く周知したことで、前年度より多くの経営体が事業を活用できた。また費用対効果の面において、簡易な整備でより大きな面積の荒廃農地を再生することができた。	
12	A	2	④	2:関連事業	農地中間管理事業		農地利用課	農地中間管理機構を通して担い手への農地集積・集約化に取り組む農業者等に対して助成する。	8,772	地域集積協力金の執行・交付	地域集積協力金を活用した農地集積を、基盤整備事業区域において実施し、集積面積に応じた補助金交付を行った。	3,300	国吉田地区について地域集積協力金を交付した。	a	当初予定していた事業区域が減少し、交付対象となる集積面積は下回ったが、交付手続きは遅滞なく実施した。	
13	A	2	④	2:関連事業	県営土地改良事業負担金		農地整備課	県営土地改良事業の基礎調査に係る負担金を支出する。	9,000	対象調査の実施	県営土地改良事業の基礎調査に係る負担金を支出した。	6,000	当初計画7地区に対して5地区実施	b	対象地区を再精査のうえ実施	
14	A	2	④	2:関連事業	農地中間管理機構関連整備事業		農地整備課	農地中間管理機構関連整備事業に係る負担金を支出する。	5,250	農地基盤整備事業(約13ha)の事業完了(令和7年度末)	農地中間管理機構関連整備事業に係る負担金を支出した。	5,250	当初計画通り実施	a	当初計画通り実施	
15	A	2	⑤	1:主たる事業	地域拠点茶工場整備事業		農業政策課	地域茶業の拠点となる茶工場の機械・施設の整備に対し助成する。	—	該当あれば実施	令和3年度該当なし	—	—	d	—	
16	A	2	⑥	1:主たる事業	茶産地総合対策事業 (補完作物転換事業)		農業政策課	茶業経営の安定化を図るため、茶から他作物への転換に対して助成する。 (JA静岡市)市の補助に1万円を上乗せ助成	24,800の一部	茶業経営の基盤づくり	茶業経営の安定化を図るため、茶殻他作物への転換に対して助成した。	1,555	交付農家数:24件 交付金額:1,555,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況	
17	A	2	⑥	1:主たる事業	茶共済加入事業		農業政策課	茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成する。	1,410	事業の実施	茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成する。	469	茶共済加入割合4.6% 加入面積53.3ha	a	茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成した。
18	A	2	⑥	1:主たる事業	「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業		農業政策課	静岡市の「個性豊かな山のお茶」の魅力を多くの人に伝えるためのキャンペーンイベントや、首都圏在住者を対象にしたセミナーを実施し、認知度や価値の向上、需要の拡大を図る。	1,500	キャンペーン・セミナーの開催	新茶PRイベント「茶縁」及び関東圏の日本茶インストラクターを対象としたオンラインセミナーの実施。	1,794	イベント及びセミナーを実施した。	a	「茶縁」については、新たにイベントを立案するところからの作業だったが、新茶時期のPRをすることができた。オンラインセミナーについても、今までリーチしなかった層へのPRができた。
19	A	2	⑥	1:主たる事業	「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業		農業政策課	静岡市の「個性豊かな山のお茶」の新規需要の開拓・販路拡大、消費拡大を図るため、茶業者と関連業種・異業種とのビジネスマッチングを実施する。	2,334	商談会の開催 3回	新規販路開拓を目的とした茶生産者に対する経営指導を委託する。	800	茶生産者6者に対する経営指導を実施。うち3者が新規販路を獲得した。	a	新規販路開拓だけでなく、新商品開発に対するアドバイス等も実施し、茶生産者の所得向上に結びつけることができた。
20	A	2	⑥	2:関連事業	担い手育成支援事業	○	農業政策課	担い手(認定農業者、新規就農者等)が経営基盤の強化のために農作業の省力化等の事業の実施に対して補助金を交付する。	23,500	認定農業者数 600経営体	認定農業者42名、新規就農者2名に対し、補助金を交付した。	20,915	認定農業者数610経営体 (R4.3.31)	a	事業が円滑にできるよう、引き続き認定農業者の営農活動を支援し、本市の認定農業者の増加に努める。
21	A	2	⑥	2:関連事業	援農ボランティア事業		農業政策課	後継者不足や人手不足に悩む農業者と農業をサポートしたい消費者を結び、営農の継続がしやすい状況をつくる。	42	ボランティアの派遣人数 136人	後継者不足や人手不足に悩む農業者と農業をサポートしたい消費者を結び、営農の継続がしやすい状況をつくった。	48	ボランティアの派遣人数 127人	a	ボランティアの派遣人数は当初目標に対して93%となったが、新規登録者は75人と多くの市民に登録していただいた。
22	A	2	⑥	2:関連事業	ふるさと農力チャレンジ事業		農業政策課	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 6件	a	成果指標を上回る件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。
23	A	2	⑥	2:関連事業	中山間地域直接支払制度		中山間地振興課	耕作放棄地の発生を防止し、農地の持つ多面的機能を確保するため、農業生産活動を通じて農地の保全活動及び集落の活性化を図る活動に取り組む営農集団等を支援するため、国の制度である、中山間地域等直接支払制度の交付金の交付する。	21,948	集落協定の締結30協定	国の中山間地域等直接支払制度に基づく交付金の交付	15,594	集落協定の締結 30協定	a	30団体の集落協定に対し補助金を交付し、耕作放棄地の発生を防止した。

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的の方策	具体的の方策	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
24	A	2	⑥	2:関連事業	オクシズ元気ビジネス支援事業		中山間地振興課	過疎化と高齢化が進行し、農林業の低迷が続く中山間地域において、集落の維持、地域の活性化を実現するため、地域資源を活用した振興事業を計画、実行する住民団体に対して補助金を交付する。(補助金交付対象事業化の検討・支援・決定)	10,000	新規 2件	新規事業実施に係る事業費の補助	2,600	新規2件	a	地域資源を活かした体験施設やECサイト構築への支援を実施した。	
25	A	2	⑥	1:主たる事業	野生鳥獣被害防除事業		中山間地振興課	野生鳥獣による農林産物被害を軽減するため、農林業者等の防除用資材購入費に対する助成を行う。	79,477	野生鳥獣被害防除事業補助金 個人145件 団体100件 地域一体 7件	野生鳥獣による農林産物被害軽減のため、農林業者等の防除用資材購入に係る補助金の交付	46,623	野生鳥獣被害防除事業 個人 70件 団体 26件 地域一体 8件	b	これまでの鳥獣対策の実施により、農業被害が減少していること、豚熱の影響により、被害状況が顕著なインシデント被害が減少したこと等から、防除申請数が減少したと推察される。	
26	A	3	⑦	1:主たる事業	GAP等認証取得・継続支援事業		農業政策課	近年需要が高まっているGAP認証の取得・継続に係る費用を助成することにより、静岡市のお茶の品質向上に努める。	2,230	助成により支援する農家数 新規:最大2件 更新:最大8件	GAP認証の取得・継続に係る費用助成の実施。	873	助成件数 新規:0件 更新:13件	a	当初想定を上回る更新への助成を行ったが、新たな認証取得茶農家はいなかった。	
27	A	3	⑦	2:関連事業	エコファーマー認定の推進		農業政策課	持続性の高い農業生産方式の促進に関する法律に基づき、導入計画の認定を行うことにより環境にやさしい農業生産の振興を図る。	31	R3認定者数 10名	持続性の高い農業生産方式の促進に関する法律に基づいた導入計画の認定を11件行った。	11	R3認定者数 13名	a	11名の認定更新を行った一方で、5名の更新辞退があり、新規認定はなかった。	根拠法令が令和4年7月1日に廃止され、新制度に移行する予定。(事業終了とする可能性あり)
28	A	3	⑦	2:関連事業	環境保全型農業支援事業		農業政策課	環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者に対して交付金を交付する。	4,753	支援面積 3,930a	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき取り組む団体を支援した。	4,446	支援面積 3,929a	a	取組面積はほぼ当初目標どおりとなり、市内の環境保全型農業を推進することができた。	
29	A	3	⑧	1:主たる事業	お茶の産地づくり推進事業		農業政策課	お茶のまちづくりを推進するため、お茶の生産者、流通関係者及び消費者の協働を通じて市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体への支援	450	事業の実施	市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体へ補助金を交付した。	450	販売促進イベントを規模縮小して実施し、新商品開発(ポトリングティー)の開発へ注力した。	a	新型コロナウイルスの影響により、市民交流イベントの実施は中止となったが、市産地のブランド力を高める事業を行うことができた。	
30	A	3	⑧	1:主たる事業	首都圏プロモーション事業		農業政策課	首都圏に対し「お茶のまち静岡市」の魅力を発信し、「静岡市のお茶」の認知度向上及び販路拡大を図る。	1,696	事業の実施	首都圏における「静岡市のお茶」の認知度向上及び販路拡大を目的としたプロモーション活動を実施。	55	東急ハンズ新宿店でのプロモーションの他、東京事務所と連携したオンラインイベントを実施した	b	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面でのプロモーションが制限される中、オンラインも活用し、質の高いプロモーション活動を行うことができた。	

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額(千円)	成果指標	実施内容	決算額(千円)	成果指標達成状況	達成状況		評価
31	A	3	⑧	1:主たる事業	首都圏テストマーケティング等実施事業		産業政策課	5市2町(静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町)で共同実施する。 【場所】東京都内(予定) 【内容】3ヵ月程度のテストマーケティングを3回実施し(計9ヵ月程度)、販売を通じて消費者情報を集め新商品開発・商品改良等に活用する。	9,000	事業の実施	実施場所:東京都港区赤坂ジカパーニッポン 実施期間:1期 6~8月 2期 9~11月 3期 12~2月	8,993	事業実施 ・採用事業者数:延べ61者 ・採用商品数:延べ142点 ・売上額:1,533,265円	a	当初の予定どおり実施することができた。	令和3年度で事業終了
32	A	3	⑧	1:主たる事業	茶販路拡張事業		農業政策課	静岡市のお茶の消費拡大のため、消費者に対し、静岡市のお茶に関する情報を提供・宣伝・普及させるイベント等の事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して、補助金を交付する。	3,000	事業の実施	対象事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付	3,000	補助金交付件数 1件	a	新型コロナウイルス感染症等の影響もありながら、当初の計画通りに事業を実施した「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付し、静岡市のお茶の消費拡大に繋がった。	
33	A	3	⑧	1:主たる事業	「個性豊かな山のお茶」ビジネスマッチング事業	○	農業政策課	静岡市の「個性豊かな山のお茶」の新規需要の開拓・販路拡大、消費拡大を図るため、茶業者と関連業種・異業種とのビジネスマッチングを実施する。	2,334	商談会の開催 3回	新規販路開拓を目的とした茶生産者に対する経営指導を委託する。	800	茶生産者6者に対する経営指導を実施。うち3者が新規販路を獲得した。	a	新規販路開拓だけでなく、新商品開発に対するアドバイス等も実施し、茶生産者の所得向上に結びつけることができた。	
34	A	3	⑨	1:主たる事業	特産茶戦略的輸出支援事業		農業政策課	お茶の国内消費が減少し茶価が低迷する中で、海外への輸出の可能性を調査し、茶業者が輸出しやすい体制構築を支援する。	4,378	静岡市のお茶 輸出量:R3:2.5t	海外でのプロモーションの実施 海外販路拡大に取組む茶業者への助成	104	R3年度輸出量:1.1t	b	新型コロナウイルス感染症拡大のため、海外に赴いてのプロモーションはできなかった。	
35	A	3	⑦	1:主たる事業	GAP等認証取得・継続支援事業	○	農業政策課	近年需要が高まっているGAP認証の取得・継続に係る費用を助成することにより、静岡市のお茶の品質向上に努める。	2,230	助成により支援する農家数 新規:最大2件 更新:最大8件	GAP認証の取得・継続に係る費用助成の実施。	873	助成件数 新規:0件 更新:13件	a	当初想定を上回る更新への助成を行ったが、新たな認証取得茶農家はいなかった。	
36	A	4	⑩	1:主たる事業	ChaOIフォーラム参画事業		農業政策課	静岡県が設立する「Cha Open Innovationフォーラム」に参画し、お茶の新たな価値を創造する取組を進める。	-	事業の実施	令和3年度実施なし	-	-	d	引き続き、生産者・茶商・関係団体等と新たな需要創出に向けた販路拡大など検討していく。	
37	A	4	⑪	1:主たる事業	ChaOIフォーラム参画事業	○	農業政策課	静岡県が設立する「Cha Open Innovationフォーラム」に参画し、お茶の新たな価値を創造する取組を進める。	-	事業の実施	令和3年度実施なし	-	-	d	引き続き、生産者・茶商・関係団体等と新たな需要創出に向けた販路拡大など検討していく。	
38	A	4	⑪	2:関連事業	ふるさと農力チャレンジ事業	○	農業政策課	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 6件	a	成果指標を上回る件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。	

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
39	B	1	①	1:主たる事業	お茶の美味しい入れ方教室		農業政策課	小学校の総合学習の時間 を利用しお茶の入れ方教室を 実施し、お茶の啓蒙・消費拡 大を図る。	4,035	希望する全ての市内 小学校に対する事業 実施	市内小学校に対して希望調査 を行い、希望した学校にお茶 の美味しい入れ方教室を実施 した。	2,542	実施校:53校	a	新型コロナウイルス感染拡 大の影響を受け、例年と比 べ教室希望校が少なかった ものの、感染予防に配慮し た授業内容で実施した。	
40	B	1	①	1:主たる事業	「静岡市流おもてなし」 茶器、冷茶機、茶娘衣 装の貸出		農業政策課	保有する茶器・冷茶機・茶娘 衣装の貸出を実施する。	-	事業の実施	保有する茶器・冷茶機・茶娘 衣装の貸出を実施した。	-	貸出件数:5件	a	茶器・冷茶機・茶娘衣装の 貸出することで、静岡市 のお茶、お茶のまち静岡市の PRにつながった。	
41	B	1	①	1:主たる事業	「静岡市のお茶」愛飲 促進事業(給茶機設置 事業)		農業政策課	子どもたちの愛飲促進、健康 増進を図るため、学校現場に 給茶機を設置する。	1,820	給茶機2機設置	子どもたちの愛飲促進、健康 増進を図るため、学校現場に 給茶機を設置する。	4,472	給茶機9機設置	a	今年度の給茶機設置希望 校が多く、目標値を7機上回 る設置を行った。設置希望 校への設置が完了しつつあ るため、今後事業継続につ いて検討を行う。	
42	B	1	①	1:主たる事業	お茶で学ぶ静岡型人材 の育成		教育セン ター	家庭科の学習が始まる5年生 を中心に、1年を通じてお茶の 入れ方を学ぶ。	128	お茶を取り入れた学 習の機会を設けた小 学校数85校	家庭科の学習が始まる5年生 を中心に、1年を通じてお茶の 淹れ方を学ぶ。	126	お茶を取り入れた学 習の機会を設けた小 学校数85校。 55%の学校が達成し た。	c	コロナ禍の影響で、学校で 湯を沸かし茶葉を淹れるこ と(調理実習やおもてなし体 験)ができなかった。 配付した茶葉が一人1袋で ないため、持ち帰りもできな かった。	
43	B	1	①	1:主たる事業	婚姻家庭に急須とお茶 をプレゼント		静岡市茶業 振興協議会	婚姻届を提出した新しい世帯 に急須と静岡市のお茶をプレ ゼントしお茶の広がりを深め る。	-	2,000組/年	婚姻届を提出した新しい世帯 に急須と静岡市のお茶をプレ ゼントし、お茶の広がりを深め た。	-	配布枚数2,810枚に 対して1,936組の引き 換えを行い、引換率 は68.9%となった。	a	1,936組の配布を行うこと で、お茶振興に繋がった。	
44	B	1	①	2:関連事業	社会科副読本改訂事 業		学校教育課	小学校が社会科の授業で活 用する副読本の中に、お茶を 教材として取り上げ編集す る。電子データ化をし、市内の 全小学3年生児童が使用でき るようにする。	1,000	副読本を編集・電子 データ化し、令和4年 度市内の全小学3年 生が使用できるよう にする。	社会科副読本の内容検討を 行い、お茶に関する内容を掲 載、改訂した令和4年度版社 会科副読本を年度末に静岡 市公立小・中学生が学習端末 (ク롬ブック)を使用し、閲覧 できるように整えた。	253	副読本を編集・電子 データ化し、令和4年 度市内の全小学3年 生が使用できるよう にした。	a	成果指標を十分達成した。	R4年度からは教育セン ター所管
45	B	1	①	2:関連事業	学校給食「お茶」提供 事業		学校給食課	学校給食として、静岡市オリ ジナル紙パック緑茶を提供す る。	-	5回/年	学校給食として、静岡市オリ ジナル紙パック緑茶を提供す る。	-	オリジナル紙パック緑 茶を年5回提供	a	7月、9月、11月、12月、2月の 計5回市立小中学校対象に学 校給食として、静岡市オリジ ナル紙パック茶の提供を行った。 お茶の日やわくわく給食の日 に合わせて提供をすることが できた。	
46	B	1	①	2:関連事業	軽自動車税種別割納期限周 知用啓発品の作成	○	税制課	軽自動車税種別割納期限周 知用啓発品として、静岡市内 産の仕上茶を使用した緑茶一 煎パックを作成し、市民等に 配布することにより、納期内 納付率の向上を図る。(配布 は令和4年度。)	1,225千 円の一 部	啓発品の作成	軽自動車税種別割納期限周 知用啓発品として、静岡市内 産の仕上茶を使用した緑茶一 煎パック1,800個を作成した。 市民等へは令和4年5月に配 布し、納期内納付率の向上を 図る。	193	啓発品作成数 1,800個	a	静岡市内産の緑茶を活用し て、これまでの啓発品(ポ ケットティッシュ)より高い啓 発効果が見込まれる品を作 成することができた。	令和4年度は実施未定

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
47	B	1	②	1:主たる事業	茶手揉保存事業		農業政策課	茶の製造技術の原点は、手揉製茶にあり、より多くの生産者にその技術を伝え、手揉技術の保存と向上に努め、製品を広く公開展示し、茶業の振興を図る。	360	計画事業の完全実施	新型コロナウイルス感染症拡大のため、茶手揉保存事業等の規模を縮小して実施した。	93	規模を縮小して実施したものの、一部の計画事業は実施した。	b	新型コロナウイルスの影響により、手揉実演等の依頼数が減少したため成果指標を下回ることとなった。	
48	B	1	②	1:主たる事業	駿府本山お茶まつり事業		農業政策課	茶詰めの儀、お茶壺道中行列、口切りの儀等の事業を実施する。	4,000	計画事業の完全実施	新型コロナウイルス感染症拡大のため、「茶詰めの儀」「口切りの儀」は規模を縮小して実施。「お茶壺道中行列」は中止し、井川お茶蔵での蔵出しの儀、安全祈願式を実施した。	0	規模を縮小して実施したものの、一部の計画事業は実施した。	b	新型コロナウイルスの影響により、イベント等は中止又は規模縮小を余儀なくされたものの、一部の事業については実施することができた。	
49	B	1	②	1:主たる事業	お茶の美味しい入れ方教室	○	農業政策課	小学校の総合的学習の時間を利用しお茶の入れ方教室を実施し、お茶の啓蒙・消費拡大を図る。	4,035	希望する全ての市内小学校に対する事業実施	市内小学校に対して希望調査を行い、希望した学校にお茶の美味しい入れ方教室を実施した。	2,542	実施校:53校	a	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年と比べ教室希望校が少なかったものの、感染予防に配慮した授業内容で実施した。	
50	B	1	②	1:主たる事業	T-1グランプリ実行委員会負担金		農業政策課	小学校3~6年生を対象としたお茶の種類当て、入れ方実技競技等により総得点を競い合うT-1グランプリを開催し、お茶に親しむ機会を提供する。	300	大会の実施	新型コロナウイルスの影響により、開催は中止となったが、参加予定者にお茶を送付した。	52	新型コロナウイルスの影響により中止となった。	c	新型コロナウイルスの影響により、市民交流イベントの実施は中止となったが、参加予定者にお茶の配布を行い、振興に繋げた。	
51	B	1	②	1:主たる事業	「お茶のまち静岡市」冊子作成		農業政策課	お茶の種類・歴史・効能などを紹介する市独自のお茶紹介冊子を「お茶の美味しい入れ方教室」などで配布し活用するため、冊子の増刷を行う。	425	冊子の改訂・増刷	お茶の種類・歴史・効能などを紹介する市独自のお茶紹介冊子を「お茶の美味しい入れ方教室」などで配布し活用するため、冊子の増刷を行った。	300	改訂し、6,000部作製した。	a	増刷を行い、「お茶の美味しい入れ方教室」やイベントにて配布することで、静岡市のお茶への理解が深めることができた。	
52	B	1	②	1:主たる事業	静岡市お茶の学校		農業政策課	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため「静岡市のお茶」について様々な分野から構成された総合的な通年講座を開催する。	504	講座の開催7回	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため「静岡市のお茶」について様々な分野から構成された総合的な講座を開催した。	160	新型コロナウイルスの影響により日程を後ろにずらして7回の講座を実施した。	a	7回の講座を開催し、お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成を行うことができた。	
53	B	1	②	1:主たる事業	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出	○	農業政策課	保有する茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施する。	-	事業の実施	保有する茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施した。	-	貸出件数:5件	a	茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出することで、静岡市のお茶、お茶のまち静岡市のPRにつながった。	
54	B	1	②	1:主たる事業	まちお茶おもてなし推進事業	○	農業政策課	静岡市のお茶を味わい、触れる機会を創出し、消費拡大を図るため、市内宿泊施設利用者に対し「静岡市のお茶」を提供する。	3,000	宿泊施設利用者へ一煎/バックを配布 50,000袋	市内宿泊施設43施設及び静岡飲食組合へ「静岡市のお茶」を提供し、宿泊客、利用者への配布及び食事等でお茶を淹れて提供した。	2,709	宿泊施設利用者へ一煎/バックを配布 50,000袋	a	「静岡市のお茶」の消費拡大に寄与するとともに、「静岡市のお茶」のPR、本市来訪者へのおもてなしの提供につながった。	令和3年度のみ実施
55	B	1	②	1:主たる事業	婚姻家庭に急須とお茶をプレゼント	○	静岡市茶業振興協議会	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントしお茶の広がりを深める。	-	2,000組/年	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントし、お茶の広がりを深めた。	-	配布枚数2,810枚に対して1,936組の引き換えを行い、引換率は68.9%となった。	a	1,936組の配布を行うことで、お茶振興に繋がった。	

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
56	B	1	②	1:主たる事業	お茶で学ぶ静岡型人材の育成	○	教育センター	家庭科の学習が始まる5年生を中心に、1年を通じてお茶の入れ方を学ぶ。	128	お茶を取り入れた学習の機会を設けた小学校数85校	家庭科の学習が始まる5年生を中心に、1年を通じたお茶の淹れ方を学ぶ。	126	お茶を取り入れた学習の機会を設けた小学校数85校。 55%の学校が達成した。	c	コロナ禍の影響で、学校で湯を沸かし茶葉を淹れること(調理実習やおもてなし体験)ができなかった。 配付した茶葉が一人1袋でないため、持ち帰りもできなかった。	
57	B	1	②	1:主たる事業	静岡市民文化祭「市民大茶会」「茶道大会」		文化振興課	5月から6月にかけて実施する市民文化祭内の一事業として、「市民大茶会」「茶道大会」を実施する。	3,350の一部	事業の実施	市民文化祭は無事に実施できたが、新型コロナウイルスの影響により、茶会は飲食を伴うため安全な開催が難しいと判断し中止となった。	3,350の一部	茶に関する事業実施はなし	d	事業は実施したが、茶に関する要素は開催がなかったため、評価対象外とする。	
58	B	1	②	1:主たる事業	伝統文化寺子屋		文化振興課	日本の伝統文化である「茶道」や伝統芸能を、ワークショップ形式で親子で体験する。	24,539の一部	事業の実施	事業は実施されたが、茶道は飲食を伴うため安全な実施が難しいと判断され、今回は琴の演奏をする内容となった。	24,539の一部	茶に関する事業実施はなし	d	事業は実施したが、茶に関する要素は開催がなかったため、評価対象外とする。	事業内容の見直しにより茶道は実施しないこととした
59	B	1	②	1:主たる事業	生涯学習施設お茶関連講座		生涯学習推進課	生涯学習施設等において、市民を対象としたお茶について学ぶ講座を開催する。(お茶の入れ方等)	指定管理料の一部	講座回数15回	生涯学習施設等において、市民を対象としたお茶について学ぶ講座を開催した。	指定管理料の一部を含む	講座回数20回	a	お茶を入れ、飲む講座や、お茶を利用した料理講座、お茶についての学習を行う講座等を開催したことで、お茶を飲み、触れ合う機会の創出を図り、お茶の普及を促進できた。	
60	B	1	②	2:関連事業	葵区魅力づくり事業		葵区地域総務課	葵トラベラーの実施により、下記の地域住民活動に集客支援を行うことで、普及促進が期待できる。 ①葵トラベラー松野編「別所平茶畑ハイキング」 ②葵トラベラー清沢編「お茶感謝祭&地域散策」 ※主催は各学(地)区自治会連合会等	11,400の一部	各事業の実施	①葵トラベラー松野編「別所平茶畑ハイキング」⇒中止 ②葵トラベラー清沢編「お茶感謝祭&地域散策」⇒中止  (追加実施事業) 葵区の魅力発信動画「あおいくんちゃんねる」において、「あおいくんお茶編」としてYouTube動画による情報発信を行った。	7,927の一部	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お祭りなど地域のイベントが中止となったことから、「葵トラベラー」についても中止を余儀なくされた。	d	葵トラベラーは中止となったものの、あおいくんYouTube動画「おいしいお茶編」では、葵区のお茶に関する情報を発信し、その魅力を伝えることで、市内外の多くの人に葵区のお茶を知ってもらうことができた。	
61	B	1	②	2:関連事業	駿河区魅力づくり事業		駿河区地域総務課	駿河区旬穫祭にて、静岡茶の販売等を実施する。	8,720の一部	事業の実施	駿河区旬穫祭にて、静岡茶の販売等を実施する。	6,612の一部	【駿河区旬穫祭in葵スクエア】静岡茶の販売を行った。	c	実施時期を検討し、感染防止に配慮して実施した。今後も、状況を踏まえ、屋外を中心に実施していく。	
62	B	1	②	2:関連事業	食育推進事業		健康づくり推進課	食育推進計画の推進及び進行管理「お茶の食育」等と題して食育応援団が開催する教室やカラダにeat75事業において若い世代へ緑茶の淹れ方等について発信する。	540	①食育応援団依頼件数:50件 ②食育推進計画を活用した情報発信件数:10件	食育応援団や静岡市食生活改善推進協議会が開催する教室等で、お茶を使用した簡単レシピの紹介や緑茶一煎パックの配付等を行った。	216	①食育応援団依頼件数:40件 ②食育推進計画を活用した情報発信件数:10件	a	食育応援団は新型コロナウイルスの影響により47件依頼のうち7件は開催が中止となったが、市のTwitterなどで継続的に食に関する啓発ができたため、a評価とした。	



第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方策	具体的方策	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
63	B	1	②	2:関連事業	学校給食「お茶」提供事業	○	学校給食課	学校給食として、静岡市オリジナル紙パック緑茶を提供する。	-	5回/年	学校給食として、静岡市オリジナル紙パック緑茶を提供する。	-	オリジナル紙パック緑茶を年5回提供	a	7月、9月、11月、12月、2月の計5回市立小中学校対象に学校給食として、静岡市オリジナル紙パック茶の提供を行った。お茶の日やわくわく給食の日に合わせて提供をすることができた。	
64	B	1	②	2:関連事業	学校給食で「茶」を使った料理の提供		学校給食課	茶の時期や「静岡市お茶の日」「ふるさと給食の日」などに学校給食で茶を使った料理を提供する。	-	事業の実施	茶の時期や「静岡市お茶の日」「ふるさと給食の日」などに学校給食で茶を使った料理を提供する。	-	全給食施設31施設で茶を使った料理の提供を行った。	a	学校給食で茶を使った料理を、全31施設で延べ449回提供した。令和3年度は全市に提供するわくわく給食で3品お茶を取り入れた物資を取り入れたことで、お茶を取り入れた料理の回数が上がった。	
65	B	1	②	2:関連事業	軽自動車税種別割納期限周知用啓発品の作成		税制課	軽自動車税種別割納期限周知用啓発品として、静岡市内産の仕上茶を使用した緑茶一煎パックを作成し、市民等に配布することにより、納期内納付率の向上を図る。(配布は令和4年度。)	1,225千円の一部	啓発品の作成	軽自動車税種別割納期限周知用啓発品として、静岡市内産の仕上茶を使用した緑茶一煎パック1,800個を作成した。市民等へは令和4年5月に配布し、納期内納付率の向上を図る。	193	啓発品作成数1,800個	a	静岡市内産の緑茶を活用して、これまでの啓発品(ポケットティッシュ)より高い啓発効果が見込まれる品を作成することができた。	令和4年度は実施未定
66	B	2	③	1:主たる事業	お茶の日記念事業		農業政策課	静岡市のお茶に所縁の深い期日を「お茶の日」として制定するとともに、その周知や静岡市のお茶に触れ合う機会を創出することにより、静岡市のお茶及び喫茶文化の普及を図る。 【R3内容】静岡市お茶まつり開催・各種団体事業との連携	2,887	お茶の日の市民への周知、記念事業の実施	11月1日の静岡市「お茶の日」を中心とした事業の実施(関連事業含む)	319	静岡市「お茶の日」ポスターコンテストほか29事業の実施	a	新型コロナウイルス感染症の影響により、静岡市「お茶の日」の啓発を目的とした「静岡市お茶まつり」は中止としたものの、その他事業については計画通りに実施した。	
67	B	2	③	1:主たる事業	お茶に親しむ日事業		静岡市茶業振興協議会	毎月1日をお茶に親しむ日とし、消費者がお茶に接する機会を多くし、お茶の消費拡大を図るとともに事業PRも積極的に実施する。	-	事業の実施	市内産のお茶、オリジナル手ぬぐいをプレゼントするポイントカードキャンペーンを実施。	-	ポイントカードキャンペーン参加店26店舗、交換件数840件	a	ポイントキャンペーンを行い、お茶の消費拡大に繋がった。	
68	B	2	③	1:主たる事業	静岡駅地下呈茶イベント		静岡市茶業振興協議会	新茶時期やお茶の日に市民・来静者の行き交う静岡駅地下広場で呈茶イベントを行い、消費拡大を図る。	-	事業の実施	新茶時期やお茶の日に市民・来静者の行き交う静岡駅地下広場で呈茶イベントを行った。	-	11月1日の静岡市お茶の日啓発のため、静岡駅北口地下イベントスペースにて「静岡市のお茶」(統一宣伝茶)を配布した。	a	消費拡大、お茶のPRに繋がった。	
69	B	2	③	1:主たる事業	静岡市「お茶の日」関連図書展示		中央図書館	静岡市立図書館全12館で、静岡市「お茶の日」に関連した図書展示を行い、情報発信を図る。	-	全館実施	10月22日から12月21日の期間に、静岡市立図書館全12館でお茶に関する図書館資料の展示を実施した。資料を借りられる方も多かった。	-	静岡市立図書館全12館で、静岡市「お茶の日」に関連した図書展示を行い、情報発信を行った。	a	お茶に関する情報発信に十分貢献した。	

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方策	具体的方策	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況	
70	B	2	④	1:主たる事業	静岡お茶カフェ情報発信事業	○	農業政策課	静岡お茶カフェの情報を集約し、発信する。	500	冊子配布による情報発信	令和3年3月に発行した冊子をイベント等で配布したほか、お茶のまち静岡市ホームページに「静岡お茶カフェ」の特設サイトを作成	154	冊子配布数:5,000部	a	冊子の新規発行は行わなかったものの、前年度の冊子をイベント等で配布し、静岡お茶カフェの認知度向上を図った。
71	B	2	⑤	1:主たる事業	静岡お茶カフェ情報発信事業		農業政策課	静岡お茶カフェの情報を集約し、発信する。	500	冊子配布による情報発信	令和3年3月に発行した冊子をイベント等で配布したほか、お茶のまち静岡市ホームページに「静岡お茶カフェ」の特設サイトを作成	154	冊子配布数:5,000部	a	冊子の新規発行は行わなかったものの、前年度の冊子をイベント等で配布し、静岡お茶カフェの認知度向上を図った。
72	B	3	⑥	1:主たる事業	ChaOIフォーラム参画事業	○	農業政策課	静岡県が設立する「Cha Open Innovationフォーラム」に参画し、お茶の新たな価値を創造する取組を進める。	-	事業の実施	令和3年度実施なし	-	-	d	引き続き、生産者・茶商・関係団体等と新たな需要創出に向けた販路拡大など検討していく。

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考
								事業内容	予算額(千円)	成果指標	実施内容	決算額(千円)	成果指標達成状況	達成状況	
73	C	1	①	1:主たる事業	JR静岡駅情報発信事業		農業政策課	①JR静岡駅構内での新茶時期(春)、お茶の日近辺(秋)にお茶のまち静岡市等のPRを実施 ②JR静岡駅構内デジタルサイネージを活用した情報発信	2,992	「お茶のまち静岡市」の周知	①JR静岡駅構内での新茶時期(春)及びお茶の日近辺(秋)にお茶のまち静岡市の周知を実施した。 ②JR静岡駅構内デジタルサイネージを活用し、通年で「お茶のまち静岡市」の情報発信を行った。	2,106	「お茶のまち静岡市」を広く周知できた。	a	通年のデジタルサイネージの掲出及び、適宜、横断幕を設置することにより、効果的に「お茶のまち静岡市」を周知することができた。
74	C	2	②	1:主たる事業	「お茶のまち静岡市」HP活用事業		農業政策課	「お茶のまち静岡市」ホームページ維持管理及び情報発信。 【R3内容】HP・Facebookによる情報発信	930	ホームページアクセス数 80,000件	「お茶のまち静岡市」HPの維持管理及びHP、Facebookにて情報発信を実施。また、まちお茶キャンペーンの期間中は特設サイトを併設。	528	ホームページアクセス数 101,738件	a	ホームページアクセス数に對前年比+18,803件と伸長し、「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信強化が図られた。
75	C	2	②	1:主たる事業	組立式茶室活用事業		農業政策課	市内外における「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図るため、保有する組立式茶室「受庵」をイベント等で活用・貸出を行う。	-	事業の実施	イベント等での活用・貸出しなし	-	実施なし	d	イベント等での活用、貸出しを周知していく。
76	C	2	②	1:主たる事業	聖一國師顕彰事業		農業政策課	聖一國師は静岡市出身の高僧で、静岡茶の始祖であり、本市の茶産業や茶文化の発展に尽くした偉人である。この偉大な功績を広くPRL後世に伝えるため、顕彰事業を行う。	869	事業の実施	新型コロナウイルス感染拡大のため、当初計画されていた事業が中止となったが、「清い水」の水汲み・水撒きの儀への参加、聖一國師に所縁のある福岡博多市への視察を行う等、静岡市のお茶のPRとともに聖一國師の功績について周知を図った。	160	適正に事業を実施した。	a	新型コロナウイルスの影響により、イベント等は中止又は規模縮小を余儀なくされたものの、一部の事業については実施することができた。
77	C	2	②	1:主たる事業	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業		農業政策課	タクシー業界と連携し、市内を走るタクシーに「お茶のまち静岡市」をイメージさせるラッピングを施して情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	6,400	導入台数:7台	ラッピングタクシー導入のため補助金を交付するとともに、タクシー乗務員を対象とした「お茶のまち静岡市」乗務員研修を開催した。毎月1日はラッピングタクシー乗客に対し、静岡市のお茶を配布し、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を図った。	2,679	導入台数:2台	c	新型コロナウイルスの影響により観光客が減少し、事業者が導入を控えたため達成度はCとなったが、ラッピングタクシーでのお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につなげることができた。
78	C	2	②	1:主たる事業	「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業	○	農業政策課	静岡市の「個性豊かな山のお茶」の魅力を多くの人に伝えるためのキャンペーンイベントや、首都圏在住者を対象にしたセミナーを実施し、認知度や価値の向上、需要の拡大を図る。	1,500	キャンペーン・セミナーの開催	新茶PRイベント「茶縁」及び関東圏の日本茶インストラクターを対象としたオンラインセミナーの実施。	1,794	イベント及びセミナーを実施した。	a	「茶縁」については、新たにイベントを立案するところからの作業だったが、新茶時期のPRをすることができた。オンラインセミナーについても、今までリーチしなかった層へのPRができた。

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況	
79	C	2	②	1:主たる事業	喫茶一茶運営事業		静岡茶商工業協同組合 農業政策課	静岡のお茶に関する文化的知識の普及、啓発を図り、静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させるため、静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行う。運営は、静岡茶商工業協同組合による。	—	事業の実施	静岡のお茶に関する文化的知識の普及、啓発を図り、静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させるため、静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行う。運営は、静岡茶商工業協同組合による。	—	店内飲食 6,270件 テイクアウト 7,248件 物販 28,887件	a	静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行い、お茶の消費拡大に繋がった。
80	C	2	②	2:関連事業	農水産物消費拡大促進事業		農業政策課	情報誌やホームページを活用し、本市の農水産物の発信と販売促進に取り組む。	2,200	HP「ZRATTO!しずおか」を介したリンク先(農業者HP)へのアクセス件数 8,500件	情報誌やホームページを活用し、本市の農水産物の発信と販売促進に取り組んだ。	1,624	HP「ZRATTO!しずおか」を介したリンク先(農業者HP)へのアクセス件数 7,211件	b	市内農業者の直売所などのHPへリンクすることで、市内農水産物の消費拡大へつなげることが出来た。
81	C	2	②	2:関連事業	ふるさと農力チャレンジ事業	○	農業政策課	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	6件	a	成果指標を上回る件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。
82	C	2	②	2:関連事業	オクシズプロモーション事業		中山間地振興課	静岡市中山間地域＝オクシズの地域や農林産物等の魅力情報を、広く市内外に向けて発信する。	9,316	オクシズプロモーションの推進	・オクシズHP、公式Twitterの運営・情報発信 ・フリーペーパーへの広告掲載 ・首都圏プロモーションの実施(東急ハンズ新宿店ほか) ・各種パンフレットの更新	6,078	・オクシズHP、公式Twitterの運営・情報発信 ・フリーペーパーへの広告掲載 ・首都圏プロモーションの実施(東急ハンズ新宿店ほか) ・各種パンフレットの更新	a	HPやTwitter、広告掲載などによる情報発信のほか、首都圏プロモーション実施など新型コロナの感染状況を都度見極めつつ、その時々でできることとして各種取組みを実施した。
83	C	2	③	1:主たる事業	首都圏プロモーション事業	○	農業政策課	首都圏に対し「お茶のまち静岡市」の魅力を発信し、「静岡市のお茶」の認知度向上及び販路拡大を図る。	1,696	事業の実施	首都圏における「静岡市のお茶」の認知度向上及び販路拡大を目的としたプロモーション活動を実施。	55	東急ハンズ新宿店でのプロモーションの他、東京事務所と連携したオンラインイベントを実施した	b	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面でのプロモーションが制限される中、オンラインも活用し、質の高いプロモーション活動を行うことができた。
84	C	2	③	1:主たる事業	「お茶のまち静岡市」HP活用事業	○	農業政策課	「お茶のまち静岡市」ホームページ維持管理及び情報発信。 【R3内容】HP・Facebookによる情報発信	930	ホームページアクセス数 80,000件	「お茶のまち静岡市」HPの維持管理及びHP、Facebookにて情報発信を実施。また、まちお茶キャンペーンの期間中は特設サイトを併設。	528	ホームページアクセス数 101,738件	a	ホームページアクセス数について、令和3年度は対前年比+18,803件と伸長し、「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信強化が図られた。
85	C	2	③	1:主たる事業	組立式茶室活用事業	○	農業政策課	市内外における「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図るため、保有する組立式茶室「受庵」をイベント等で活用・貸出を行う。	—	事業の実施	イベント等での活用・貸出しなし	—	実施なし	d	イベント等での活用、貸出しを周知していく。

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成 状況		評価
86	C	2	③	1:主たる事業	聖一国師顕彰事業	○	農業政策課	聖一国師は静岡市出身の高僧で、静岡茶の始祖であり、本市の茶産業や茶文化の発展に尽くした偉人である。この偉大な功績を広くPRし後世に伝えるため、顕彰事業を行う。	869	事業の実施	新型コロナウイルス感染拡大のため、当初計画されていた事業が中止となったが、「清い水」の水汲み・水撒きの儀への参加、聖一国師に所縁のある福岡博多市への視察を行う等、静岡市のお茶のPRとともに聖一国師の功績について周知を図った。	160	適正に事業を実施した。	a	新型コロナウイルスの影響により、イベント等は中止又は規模縮小を余儀なくされたものの、一部の事業については実施することができた。	
87	C	2	③	1:主たる事業	「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業	○	農業政策課	静岡市の「個性豊かな山のお茶」の魅力を多くの人に伝えるためのキャンペーンイベントや、首都圏在住者を対象にしたセミナーを実施し、認知度や価値の向上、需要の拡大を図る。	1,500	キャンペーン・セミナーの開催	新茶PRイベント「茶縁」及び関東圏の日本茶インストラクターを対象としたオンラインセミナーの実施。	1,794	イベント及びセミナーを実施した。	a	「茶縁」については、新たにイベントを立案するところからの作業だったが、新茶時期のPRをすることができた。オンラインセミナーについても、今までリーチしなかった層へのPRができた。	
88	C	2	③	1:主たる事業	まちお茶おもてなし推進事業		農業政策課	静岡市のお茶を味わい、触れる機会を創出し、消費拡大を図るため、市内宿泊施設利用者に対し「静岡市のお茶」を提供する。	3,000	宿泊施設利用者へ煎パックを配布 50,000袋	市内宿泊施設43施設及び静岡飲食組合へ「静岡市のお茶」を提供し、宿泊客、利用者への配布及び食事等でお茶を淹れて提供した。	2,709	宿泊施設利用者へ煎パックを配布 50,000袋	a	「静岡市のお茶」の消費拡大に寄与するとともに、「静岡市のお茶」のPR、本市来訪者へのおもてなしの提供につながった。	令和3年度のみ実施
89	C	2	③	1:主たる事業	まちの緑茶化推進事業		農業政策課	「お茶のまち」のイメージ強化、国内外での認知度向上のため、市内にシンボリックな「お茶の出る蛇口(特殊給茶機)」を設置し、「まちの緑茶化」を進め、「お茶のまち静岡市」のブランディングを図る。	1,500	特殊給茶機1機設置	—	0	特殊給茶機設置台数 0台	d	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していた事業成果が得られないと判断したことから未実施。	令和3年度のみ実施
90	C	2	③	1:主たる事業	茶業界・タクシー業界連携事業		静岡市茶業振興協議会	本市茶業界・タクシー業界が連携し、市内を走るタクシーを通じて情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	—	事業の実施	8月5日「タクシーの日」にタクシー利用者へ「静岡市のお茶」を配布し「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進した。	—	事業の実施	a	タクシー業界との連携によるお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につなげることができた。	
91	C	2	③	1:主たる事業	喫茶一茶運営事業	○	静岡茶商工業協同組合 農業政策課	静岡のお茶に関する文化的知識の普及、啓発を図り、静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させるため、静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行う。運営は、静岡茶商工業協同組合による。	—	事業の実施	静岡のお茶に関する文化的知識の普及、啓発を図り、静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させるため、静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行う。運営は、静岡茶商工業協同組合による。	—	店内飲食 6,270件 テイクアウト 7,248件 物販 28,887件	a	静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行い、お茶の消費拡大に繋がった。	

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方針	具体的方針	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額(千円)	成果指標	実施内容	決算額(千円)	成果指標達成状況	達成状況		評価
92	C	2	③	2.関連事業	シティプロモーション推進事業		広報課	お茶をはじめとした本市の魅力を国内外の人々、来訪者並びに市民に向けて情報発信する。	57,760の一部	シティプロモーションの推進	・さくらもこ氏のシティプロモーション用イラスト名刺や、ウェルカムフラッグに、お茶畑や茶摘みのイラストを使い、配布及び掲示した。 ・静岡市シティプロモーションサイトでPRした。 ・「しずちか茶店一茶」及び「しずちか」で、お茶とコラボしたカフェを展開し、新しいお茶の楽しみ方を提案することで、市民及び来静者に向けて「お茶のまち静岡市」をPRした。	53,149の一部	シティプロモーションの推進	a	社会実験では「しずちか」や「しずちか茶店一茶」を通じて、お茶に関して広く周知できた。 次年度も継続して、取り組んでいきたい。	
93	C	2	③	2.関連事業	オクシズプロモーション事業	○	中山間地振興課	静岡市中山間地域＝オクシズの地域や農林産物等の魅力情報を、広く市内外に向けて発信する。	9,316	オクシズプロモーションの推進	・オクシズHP、公式Twitterの運営・情報発信 ・フリーペーパーへの広告掲載 ・首都圏プロモーションの実施(東急ハンズ新宿店ほか) ・各種パンフレットの更新	6,078	・オクシズHP、公式Twitterの運営・情報発信 ・フリーペーパーへの広告掲載 ・首都圏プロモーションの実施(東急ハンズ新宿店ほか) ・各種パンフレットの更新	a	HPやTwitter、広告掲載などによる情報発信のほか、首都圏プロモーション実施など新型コロナウイルスの感染状況を都度見極めつつ、その時々でできることとして各種取り組みを実施した。	
94	C	2	③	2.関連事業	姉妹都市等交流事業		国際交流課	姉妹都市等に職員が訪問する際に「静岡市のお茶」を持参しPRする。また、姉妹都市や大使館等の公式訪問者を受け入れる際に「静岡市のお茶」でもてなす。	11,391の一部	事業の実施	公式訪問者の受け入れ時に「静岡市のお茶」でもてなした。	385	事業を実施し、お茶のまち静岡市のPRに貢献した。	b	令和4年度以降の国際的な往來の再開を見込み、引き続き、海外関係者へ静岡市のお茶をPRする。	
95	C	2	③	2.関連事業	客船寄港歓迎事業		海洋文化都市政策課(清水港客船誘致委員会)	客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースをはじめとした出店などの歓迎事業を実施する。	34,762の一部	外国客船寄港時のお茶会体験の実施 未定 ・お茶会の参加者数 未定 ・お茶会による抹茶の使用量 未定 客船寄港時のお茶の販売 回数と店舗数、売上未定	客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースをはじめとした出店などの歓迎事業を実施する。	20,742	・外国客船寄港時のお茶会体験の実施 全0回 ・客船寄港時のお茶の販売 全7回、延べ7店舗 ・各店舗の売上は平均 84,141円/回	b	コロナの影響で令和3年度にも外国客船の寄港実績がなかったが、2年度より日本船の寄港回数が多かった(7回→12回)。外国船が寄港しないとお茶会のおもてなしをできませんが、日本船の乗船客には静岡・清水のお土産としてお茶はもともと人気で、お茶を販売する出店者は他の出店者と比べて売り上げが高い。	
96	C	2	③	2.関連事業	KEIRINグランプリ2021PR事業		公営競技事務所	KEIRINグランプリ2021PR用配布品として静岡茶の一煎バックを作成し、他競輪場等で来場者に配布することにより開催PR及びシティプロモーションを実施する。	412,000の一部	一煎バック60,000個作成予定。	KEIRINグランプリ2021PR用配布品として静岡茶の一煎バック及びお茶ペンを作成し、全国の競輪場等で来場者に配布することにより開催PR及びシティプロモーションを実施した。	2,700	一煎バック49,000個及びお茶ペン1,000個を作成し、成果指標の80%以上を達成した。	a	配布品の作成内容を変更したため作成個数は約83%に留まったが、事業計画の事業内容欄に記載のとおり実施することができた。	令和3年度で事業終了

第2次静岡市茶どころ日本一計画 実施状況(令和3年度)

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的の方策	具体的の方策	種別 1:主たる事業 2:関連事業	事業名	再掲	関係部署等	事業計画			事業実績				備考	
								事業内容	予算額(千円)	成果指標	実施内容	決算額(千円)	成果指標達成状況	達成状況		評価
97	C	2	④	1:主たる事業	新茶シーズン応援事業		静岡市茶業振興協議会	新茶シーズンの到来に合わせて、行政、茶業関係者が一体となって情報発信等を行い、消費拡大を図る。	—	事業の実施	SNSを活用した「#うちお茶」キャンペーンを実施し、「新茶シーズン到来」静岡の新茶の情報発信を行った。	—	「#うちお茶」をつけた投稿数:612件	a	全国に「お茶のまち静岡市」を知ってもらい、「静岡市のお茶」を飲んでもらう機会の提供につながった。	
98	C	2	④	1:主たる事業	まちの緑茶化推進事業	○	農業政策課	「お茶のまち」のイメージ強化、国内外での認知度向上のため、市内にシンボリックな「お茶の出る蛇口(特殊給茶機)」を設置し、「まちの緑茶化」を進め、「お茶のまち静岡市」のブランディングを図る。	1,500	特殊給茶機1機設置	—	0	特殊給茶機設置台数0台	d	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していた事業成果が得られないと判断したことから未実施。	令和3年度のみ実施
99	C	3	⑤	1:主たる事業	お茶ツーリズム推進事業		農業政策課	来静者等の受入に積極的な茶農家・茶商等を対象とした講習会・意見交換会等を実施することにより、お茶ツーリズムに取り組む茶農家等の増加及び対応等の向上を推進する。	4,293	体験者数:930人	来静者等の受入に積極的な茶農家・茶商等を対象とした講習会・意見交換会等を実施することにより、お茶ツーリズムに取り組む茶農家等の増加及び対応等の向上を推進する。	3,696	体験者数:62人	c	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、体験者数は大幅減となった。「Afterコロナ期」を見据えた勉強会を実施し、受入体制の強化を行った。	
100	C	3	⑤	1:主たる事業	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業	○	農業政策課	タクシー業界と連携し、市内を走るタクシーに「お茶のまち静岡市」をイメージさせるラッピングを施して情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	6,400	導入台数:7台	ラッピングUDタクシー導入のため補助金を交付するとともに、タクシー乗務員を対象とした「お茶のまち静岡市」乗務員研修を開催した。毎月1日はラッピングタクシー乗客に対し、静岡市のお茶を配布し、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を図った。	2,679	導入台数:2台	c	新型コロナウイルスの影響により観光客が減少し、事業者が導入を控えたため達成度はcとなったが、ラッピングタクシーでのお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につながることができた。	
101	C	2	⑤	2:関連事業	静岡県中部地域連携DMO推進事業		観光・MICE推進課	お茶を活かした本市のブランディングと誘客促進 ・茶の間(絶景の茶畑に設置した木製デッキ) ・茶水プロジェクト(お茶を使ったかき氷)	99,800の一部	■茶の間 施設:7か所 体験人数:7,000人 売上:2,800万円  ■茶水 参画店舗:40店舗(静岡中部地域) 売上杯数:6万杯	■茶の間 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、SNSやウェブ媒体を活用したプロモーションを展開し、茶の間の認知向上に寄与した。 3月には新規茶の間を1ヶ所(藤枝市)新設した。 ■茶水 民間事業者と連携して参画店舗をとりまとめ、メディアを活用したプロモーションを展開。期間中は緊急事態宣言発令など新型コロナウイルス感染症の影響を受け目標値は下回った。	99,800の一部	■茶の間 施設:6か所 (既存5か所は事業者による自主開始) 体験人数:5,275人 売上:1,582万円  ■茶水 参画店舗:39店舗(静岡中部地域) 売上杯数:3.3万杯	b	■茶の間 既存5か所の茶の間は、これまでのプロモーションにより認知が向上し、事業者が独自で事業展開できる形に移行できた。 今後、新設した茶の間など圏域内の情報をとりまとめて一体的なプロモーション展開を期待する。 ■茶水 これまでの取組により、静岡の夏のコンテンツとして認知が進んでいる。今後も様々な媒体を活用したプロモーションにより、夏の風物詩として「茶水」を活用した誘客促進を期待する。	・事業者による自主開始した5か所は「茶の間」、これから新設するものは「ティーテラス」と呼称。(するが企画観光局より)